

MIOびわこ滋賀 地域と地域の子どもたちとともに

—本市出身の國領選手に聞く—

■ MIOびわこ滋賀

滋賀県初のリーグ加盟をめざし、JFL（日本フットボールリーグ）で戦う地元サッカーチーム。

2013年から東近江市をホームタウンとし、布引グリーンスタジアムで試合を行っている。

11月7日(土)13:00から、布引グリーンスタジアムで今シーズン最後のホーム試合を迎える。



國領一平選手（22歳）
東近江市出身。小学生の時にスカウトされ京都サンガF.C.U-15に入団。その後、京都サンガF.C.に昇格し、本年からMIOびわこ滋賀へレンタル移籍、現在レギュラーとして活躍中。

Q サッカーとの出会いや、サッカー選手になった経緯を教えてください。
A 2人の兄がサッカーをしていて、幼稚園のころから自然とサッカーで遊んでいました。八日市北小学校ではスポーツ少年団の八日市北F.C.に所属し、サッカー好きの友達にも恵まれて、練習の後もずっと学校のグラウンドでサッカーをしていました。滋賀県大会で準優勝も果たしました。そうした中で、Jリーグに所属する京都サンガF.C.に声をかけられ、ジュニアチームの京都サンガF.C.U-15に加入しました。高校卒業時には、トップチームに昇格することができましたが、昇格1年目はケガも重なり、苦しいシーズンでした。クラブでは通用しないのではないかと、自信をなくしてしま

た。でもコーチが声を掛けてくれて、徹底的に指導してもらい、1年目が終わるときには「やれるんだ」という手応えに変わっていました。そんな時にレンタル移籍の話があり、今年からはMIOびわこ滋賀で頑張っています。

Q 地元でプレーすることで、変化はありましたか？
A 家族や友人、地元の人から応援をいただき、とても励みになります。また同時に、大きな期待も感じています。そうしたプレッシャーも成長につなげたいですね。このような経験は地元でないとできませんし、滋賀県のサッカーを盛り上げたいと思います。



10月4日(日)に行われたMIOびわこ滋賀の公式戦（布引グリーンスタジアム）

Q チームや試合の雰囲気はどうですか？
A レギュラー争いが激しい中でも、チームの一体感は強く、勝利に向けて全力で戦っています。また試合のチャンス、ピンチの展開も早く、手に汗を握る試合が多いので、観戦して面白いと思います。

Q ホーム最終戦を控え、市民の皆さんへ一言お願いします。
A いいチームだと思ってもらえるように、そして、毎回試合を見る

Q 最後に、夢を追いかける子どもたちへメッセージを。
A 仲間とともに好きなことをとことんやってほしいです。まだ見つかっていないのなら、いろんなことにチャレンジして好きなことを見つけてください。私はその過程でも仲間にも成長させられたと思っています。そのような「人生で大切な経験」をたくさんしてほしいと思います。

・MIO夢授業

市内の小学校や幼稚園、保育園などで、体を使った運動の楽しさ、夢を持つ大切さを伝える授業をMIOびわこ滋賀のコーチや選手が行っています。



Q ホーム最終戦を控え、市民の皆さんへ一言お願いします。
A いいチームだと思ってもらえるように、そして、毎回試合を見る

2015シーズン MIOびわこ滋賀 ホーム 最終戦！

東近江市制 10 周年記念・日野ライオンズクラブ青少年育成事業スペシャルマッチ

時 11月7日(土) 13:00 試合開始
(11:30 開場)

場 布引グリーンスタジアム

試合終了後、MIOの選手とサッカーで交流できる「MIOふれあいサッカー」を開催！誰でも参加できます。※ヒール靴は不可



11月7日(土)
MIOびわこ滋賀
VS ヴェルスパ大分

特別入場券

本券持参で入場無料

※切り取ってご利用ください

